



祝！成人おめでとう

1月12日（日）、上山田文化会館において、令和6年度千曲市成人式が開催され、対象者643名中、439名の成人の皆さんが出席しました。

式典では、新成人代表2名が誓いの言葉を述べ、続く「二十歳を祝う会」では思い出のビデオの鑑賞と千曲市PR大使「鬼越トマホーク」の出演により大変盛り上がりしました。

上の写真は、最後に鬼越トマホークと実行委員と会場の皆さんで記念撮影をしたものです。

特集 成人式

《主な掲載記事》

特集 成人式……………2～5

第29回更埴地区短詩型文学祭

入賞作品・公民館からのお知らせ

……………6～7

もっと知りたいふるさと……………8
(埴生)

新成人のみなさん
おめでとーございます

実行委員長あいさつ

屋代地区 北澤 樺咲



本年度、千曲市成人式実行委員長を務めさせていただく北澤樺咲です。

本日はこのように盛大な成人式を開催していただき誠にありがとうございます。私たちが無事に成人式を迎えることができ、またのは家族や諸先生方、地域の皆様のおかげと心より感謝を申し上げます。

私たちは二十歳という人生の節目を迎えることができました。私たちは、就職している人や学業に励んでいる人など進む道はそれぞれですが、成人として社会の一員となり、自分自身の行動や発言に責任を持つことが大切だと私は思います。

私たちは、これまでの人生で、たくさんの人々に支えられてきました。家族、友人、先生方、そして地域の方々。多くの人々からの温かい励ましや応援があったからこそ今の私たちがいると言えるでしょう。だからこ

そ私たちの一人一人が社会の一員であることに責任を持ち、お世話になった方々への感謝を忘れずに、社会に貢献できる人にならなくてはならないと思います。

私は、高校を卒業して就職をしました。自動車販売の営業職として働き始めて、この春で3年目になります。学生時代とは違い、責任ある行動や、発言が求められる立場になったと感じています。そして営業職としてお客様との信頼関係を築き、会社に貢献することが私の使命だと考えるようになりました。

今、私は営業の仕事を通して、多くの人々との出会い、コミュニケーション能力が大きく向上したと感じています。また、お客様との会話から様々な価値観や考え方を知ることができ、視野を広げられたとも感じています。そして、目標の達成に向けて努力をし、結果を出すことの大切さを学びました。これからも日々、新しいことを学び、成長し続けることで、お客様の期待に応えられる人間になりたいと思っています。

最後になりますが、この素晴らしい式典を開催するにあたり、ご尽力いただきました千曲市長小川修一様をはじめ市の職員の皆様、並びに関係者の皆様に新成人を代表いたしまして厚く御礼を申し上げ、成人式実行委員長の挨拶とさせていただきます。

卒業生へ
贈る言葉

平成28年度 埴生小学校
6年1組担任 宮崎 正幸

新成人おめでとーございます。皆さんにはこれから先、可能性に満ちた数十年の人生が広がっており、若さ故の失敗も自分の財産になっていきます。私の未来は皆さんほど長くありませんが、挑戦する気持ちだけは持ち続けています。60才を過ぎた今でもフルマラソンで自己ベストを更新できているのは、支えてくれる仲間や家族のおかげです。これからの人生の中で、古くからの友、学校や職場の仲間といった人との縁、出会いを大切にしてください。

平成28年度 埴生小学校
6年2組担任 安藤 花蓮
(旧姓 林田)

新成人の皆様、この日を迎えられたこと、心からお祝い申し上げます。皆さんと過ごした時のことを思い出すと、毎日が新鮮でときどきした日々だったと懐かしい気持ちになります。皆さんは、小学校を卒業してから多くのことを経験してさらに大きく成長したのではないかと思います。今日までの経験は、すべて自分のためになる、どんなことも大切な自分の経験です。「虹色の未来」を目指してこれからの人生を歩んでいってください。

平成28年度 埴生小学校
6年3組担任 堀内 朝子

ご成人おめでとーございます。いよいよ大人の仲間入り、大きな節目ですね。そしてきっと、輝く青春の真っ只中にいて、瞳をキラキラさせていることでしょう。6年生だった時の皆さんを思い浮かべながら、私までワクワクし、お祝いの気持ちで一杯です。

皆さんが卒業文集に記した「未来の自分へ」では漠然としていた未来が、段々と像を結んでいることでしょう。大人としての見識と、それぞれのフィールドでのロマンを持って、未来へ進んでください。

平成28年度 埴生小学校
6年4組担任 木村 雅樹

ご成人おめでとーございます。皆さんとの出会いは5年生の時。それまで中学校で教えていた私が、5年生の皆さんに何かにつけて「中学では」と話し、「僕たちは小学生だよ」と返されるやりとりを思い出します。そんな皆さんも成人となったんですね！大切な青春時代をコロナ禍の中で過ごした皆さん。たくさん大変な思いをしたと思いますが、その分たくましく成長したことでしょう。周りの方への優しさや感謝を忘れないうで、これからの人生を輝かせてください！

誓いの言葉

五加地区 谷口 実結



本日、私たちは成人として新たな一歩を踏み出す節目の日を迎えました。この場に立つことができるのは、これまで私たちを支えてくださった多くの方々の存在があったからこそです。

まず、私たちが愛情深く見守り、育ててくれた家族、困ったときに力を貸してくれた友人たち、地域や学校で導いてくださった先生方、そして本日私たちのために素晴らしい式典を催してくださった関係者をはじめとするすべての方々に心より感謝を申し上げます。

振り返れば、私たちはさまざまな経験を通して多くのことを学び、成長してきました。楽しい思い出ばかりではなく、時には壁にぶつかり、悩み、苦しい日々を過ごしたこともあります。

しかし、その度に支えとなる存在があったことで、立ち止まりな

がらも前に進むことができました。その二つの経験が私たちの強さや優しさを育み、大きく成長させてくれたのだと実感しています。

社会の一員となろうとしている今、私たちが果たすべき役割は、支えられる側から支える側へと変わることです。自分自身の目標を追い求めるだけでなく、社会の一員として責任を持ち、誰かの力になれる存在でありたいと考えます。例えば、地域社会の中で周囲に目を配り、小さな力でも誰かを助ける行動を心掛けていきます。また、自分の将来に向き合い、努力を怠らず、夢や目標に向かって挑戦し続けることを誓います。

私たちはこれから困難な時代を生きていきます。今日の日本社会は、不況が続く、変化も著しく、簡単には解決できない問題が山積みです。それでも、私たちには未来を諦めることなく希望を胸に前に進む力があります。変化の激しい時代だからこそ、多様な価値観を認め合い、互いを尊重する心を大切にしながら、自分らしい道を切り開いていきます。

最後に、今日という日を迎えるまで見守り続けてくださったすべての方々への感謝の気持ちを胸に、二十歳としての自覚と誇りを持ち、精進していくことをここに誓い、誓いの言葉とさせていただきます。

埴生地区 吉田 哉輝



本日は私たち新成人のために素晴らしい式典を催していただき、誠にありがとうございます。

今日こうして成人式を無事迎えることができたのは、一番近くで支え続けてくれた家族、共に切磋琢磨し合った友人たち、厳しくも優しい言葉を投げかけてくださった先生方、いつも温かく見守ってくださった地域の方々、挙げればきりがないほどたくさんの方々の支えによるものであることを、新成人を代表してお礼を申し上げます。

気づけば、もう「二十歳」という人生の節目を迎え「大人になっただろ」という期待を持つとともに、時の流れはあっという間に過ぎてしまふという焦燥感に駆られていく人もいると思います。

そのような中、私たちは現在、勉学に励んでいる人、仕事に勤しんでいる人、自分の夢の実現のために日々努力をしている人、中には自分の将来がまだ定まらず悩んでいる人もいます。私自

新成人の皆さんに
贈る言葉

新成人の皆さんへ
埴生公民館長 長島 克彦

新成人の皆さん、成人の日を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

今日の輝かしい晴れ姿にご両親の喜びもひとしおのことでしょう。大切に育てられたご両親へのご恩を胸に、成人としてますます成長されまことを願っています。

自分を取り巻く方々への感謝の気持ちは心に思うだけでなく、相手に向き合い、しっかりと言葉に表し気持ちを伝えてください。

なお成人の日は言うまでもなく国民の祝日であり「おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝います」と定義されています。

私の好きなある時代劇の主題歌に「人生楽ありや苦もあるさ、涙の後は虹も出る、泣くのが嫌ならさあ歩け」とあります。やらずに後悔するよりもたとえ一歩でも前に歩いてください。きっと素晴らしい虹がでると信じています。

「己を拓こう、肩あげて」大きな希望を見上げ、自らの力で未来を開きましょう。終わりに、皆さんの洋々たる前途を祝い、幸多からんことを心からお祈りいたしました。お祝いの言葉とさせていただきます。





しおりの表紙
題字は唐澤美優さん書
(戸倉小)

祝 成人

桜梅桃李



「二十歳を祝う会」司会の2人です



受付も実行委員のお仕事です



仲間と一緒に華やかですね！



千曲市PR大使 鬼越トマホークと一緒に！



ビシッと決まっています！



亡き友の遺影とともに



フォトブースの作成がんばりました！

実行委員長	北澤 樺咲(屋代小)	式典司会	眞弓田 涼介(東小)
副実行委員長	岡本 恵太(戸倉小)	二十歳を祝う会	大月 晟年(治田小)
二十歳を祝う会	竹内 優吾(埴生小)	しおり副委員長	山本 桃葉(戸倉小)
しおり委員長	永田 紗希(八幡小)	誓いの言葉	谷口 実結(五加小)
誓いの言葉	吉田 哉輝(埴生小)	誓いの言葉	北村 優芽(八幡小)
誓いの言葉	堀口 恵生(更級小)	誓いの言葉	松林 百夏(五加小)
誓いの言葉	林 花純(上田小)	誓いの言葉	宮原 愛実(上田小)
誓いの言葉	宮原 愛実(上田小)		

成人式実行委員

【おうばいとうり】

桜・梅・桃・李(すもも)がそれぞれ美しい花を咲かせるように人と比べることなく自分の良さを大切に“自分らしく生きる”



式典



式典の司会の2人です



実行委員長あいさつ



厳粛な雰囲気 of 式典会場



誓いの言葉



仲良し3人組でハイチーズ！



晴れやかに友達と記念撮影



実行委員作成のフォトブースをバックにパチリ！



我が子の出待ち中の保護者の皆様

※「館報ちくま」及び「もっと知りたいふるさと」は千曲市ホームページでご覧になれます。

もっと知りたいふるさと

102

東山神社

しなの鉄道屋代駅の東側、有明山の山腹に、小島区の鎮守「東山神社」があります。

近隣に見る神社の多くは、平地に建てられています。東山神社が山中に建てられた思いをえつつ、参道を登るのも面白いものです。

神社からの眺望は、眼下に殖生の町並みが見られ、遠くには重伝建の蔵の町稲荷山や日本遺産の八幡の町が見渡せます。

東山神社の参道の石積みや神が鎮座する社殿の石垣は美しく、石工の技術を堪能することができます。

また、境内には本殿のほか養蚕社、秋葉社、事代社、天満宮、道祖神が鎮座しています。何よりも、神社と古墳が同じ敷地内にあることが珍しいと思います。



神社本殿



養蚕社

この地は、千曲川氾濫に悩まされた地であり、現小島の大半は水没する地形であったよう、水没しないわずかな地に、人が住み始めたと言われています。

慶長7（1602）年、徳川の「川中島四郡検地打立之帳」に、「尾島村」として村名が初見されていますが、極小の村に治水の力はなく、水害は度々あったと考えられます。

特に、寛保2（1742）年8月1日発生の洪水「戌の満水」は、今も語られます。水害に苦しむ村人は、神を迎える場所として、水から守れる高所を選択するのは当然のことでしょう。

【高台の神社】今は、社を高台に築いた思いを知る術もありませんが、小島の成立を考えると、うなずけるものがあります。

村名が初見されてから約200年後、文政3（1820）年に神社が建立され、「健御名方命・事代主命」を祭神とし、「諏訪社」が生まれました。

このころの村規模は、40軒余り・人口約180人と推測されます。

【社名の改称】明治13（1880）年、官許を得て「諏訪社」から「東山神社」へと改称をしています。「有明山」ではなく、なぜ「東山」と名付けたのか不思議に思いましたが、小字名から名付けたと考えられます。

【社殿の改築】大正14（1925）年、現社殿に改築され様相を一新したと言われています。

【古墳の発見】昭和4（1929）年、鳥居改修の折に見え、調査を経て「東山神社古墳」として登録されています。古墳は削平されており、規模は不明ですが、長さ3.6㍎、幅



参道の美しい石積み



古墳をしのぶ石碑

0.7㍎の石棺、人骨、直刀3振と鉄製の矢じり数十本が出土しています。古墳は7世紀ごろの築造だと記録されています。

【東山神社は歴史探訪の分岐点】この神社の直下には、大永2（1522）年に屋代氏開祖の「満照寺」があり、神社から北方面に屋代氏居城跡の一重山や森將軍塚古墳への道が延び、右手からは、有明山將軍塚古墳への登山道が延びています。

有明山將軍塚古墳は、有明

編集後記

館報編集委員として、成人式当日のカメラ取材をし、式の参観を得る機会に恵まれた。式場入口付近では、新成人の皆さんが涙と笑顔をカメラに収まり、懐かしい思い出話に花を咲かせていた。

式典での男女代表の「誓いの言葉」や「二十歳を祝う会」での実行委員長のあいさつに、新成人としての決意や未来を見つめる真摯な姿に胸打たれ



東山神社周辺図

山北西尾根の標高約560㍎付近にあり、全長38㍎の前方後円墳です。歴史を紐解きながら、里山めぐりをするには最適といえます。

小島 高橋 義廣

参考文献

『更級埴科地方誌』

『更埴市史』

『千曲市を護る神々』

市河俊和 著

た。

実行委員の皆さんも、丁寧に司会進行などの役を務め、和やかなうちに式の幕を閉じた。

普段は県内外で就労や学業に勤しんでいる若者が成人式に集い、「ふるさと千曲市」で育まれた20年間を共有できたのではないかと思った。

成人式で、郷土に誇りを持ち、未来を信じて進む若者たちの姿に、持続可能な千曲市を見た思いがした。

（八幡 M）